

市民タイムス 令和8年(2026年)8月23日

沖澤さんの指揮で、務川さん、原田さんと共に多彩な響きを奏でるSKO



壮大な音色響く オケコンサート Aプログラム

松本市で開催中の国際音楽祭セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)のオーケストラコンサートAプログラムが22日、水汲のキッセイ文化ホールで始まった。OMF首席客演指揮者の沖澤のどかさん(39)がサイトウ・キネン・オーケストラ(SKO)ら107人の奏者とメシヤンの大作「トゥランガリーラ交響曲」を壮大に奏で、1792人の観客を魅了した。

沖澤さんはタクトを持たずに、体全体を使って指揮をした。華やかだったり、エキゾチックだったりときまぎらに変化する10楽章、8分にわたる交響曲をリードし、SKOが圧倒的な演奏で応えた。ピアニストの務川慧悟さん(33)のソロは力強く、電波楽器オンド・マルトノ奏者の原田節さんは妖しい音色を響かせた。共に松本深志高校(松本市)出身の高山泰利さん(64)、金井麻理さん(32)ら大編成の打楽器奏者もシンバルやタンバリンをリズムカルに鳴らし、引きつけた。

市内の主婦・林加奈さん(32)は「体中に響き渡る演奏で80分があつという間だった」と感激していた。

23日午後3時から公演がある。当日券(S席2万5000円、A席2万円)を午

後1時半から会場のキッセイ文化ホールで販売する。

(真田尚子)



【関連記事22面】